

## 大学を花でいっぱい - 花植え活動2016春

2016.6.17

本館前の花壇では、四季を通じて美しい花が咲き、職員・学生をはじめ地域の方々を楽しませてくれていますが、平成28年6月17日(金)に花の植替え作業を行いました。

今回の花植替えに備えて事前に(6月8日)に、調布市のボランティアグループ「調布花・はなの会」の協力を得て、花壇の整備をしました。

植替え作業は、「調布花・はなの会」の支援により、平成15年から実施しています。平成27年の春季からは、前年度に発足した学生サークル「草のおと」が中心となり、「調布花・はなの会」の指導の下、花植替え作業を実施しています。

今回は、本学と連携協定を締結している調布市から、長友市長、八田生活文化スポーツ部長他4名、東京都立調布特別支援学校の生徒さんと先生方35名、花・はなの皆さん3名とともに、教職員・学生26名の総勢70名で、夏から秋に向けて咲く千日紅、ポーチュラカ、マリーゴールドの苗を植えました。

福田学長の挨拶、長友市長の挨拶、学生サークル「草のおと」代表の挨拶のあと、花・はなグループリーダーの原さんから、「苗の根を手でよくほぐしてから、根が隠れるよう深く埋めてください」との説明があり、皆さんの協力によって、30分ほどで作業が終了しました。

この花植替え活動は、春と秋の2回実施しており、日頃の水遣りや花壇の手入れは「調布花・はなの会」の指導のもと、学生サークル「草のおと」の皆さんが行ってくれています。同グループのご尽力により、いつも可憐な花々が咲き、我々に潤いと安らぎを与えてくれています。



## 調布市文化会館たづくりにおける協力公開講座および展示のお知らせ

2016.7.19

本学では、調布市と2003(平成15)年5月20日に結んだ相互友好協力協定に基づき、生涯学習に関する協力として、「ちょうふ市内・近隣大学等公開講座」に講座を公開しています。今年度は8月から9月にかけて、本学金子正勝教授ならびに児玉幸子准教授による公開講座が調布市文化会館たづくりにて開催されます。

また、同時期に児玉幸子准教授がこれまで手掛けてきた作品を紹介する地元調布初の展示会も開催されることとなりました。

## ○ ちょうふ市内・近隣大学等公開講座

「メディアを作る(創る)」を総合テーマに、2回の講座を開催致します。

## 第1回 自制流体彫刻とメディアアートのデザイン

8月6日～9月19日まで、調布市文化会館たづくり1階の展示室で開催中の講師展示会について、創作のエピソードを交えながら豊富な映像資料を使って解説します。

日程	2016年9月2日(金)
時間	19:00～20:40
会場	映像シアター(たづくり8階)
講師	児玉 幸子(大学院情報理工学研究所 情報学専攻 准教授)
受講料	無料
定員	100人
保育	あり
申込開始日時	市内の方:2016年8月12日(金) 9:00から 市外の方:2016年8月19日(金) 9:00から
申込方法	財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団のサイトをご覧ください。 <a href="#">財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団</a> <a href="#">ちょうふ市内・近隣大学等公開講座</a>

## 第2回 メディアデザインの現在 - iPhoneはなぜ成功したか

写真や映画からはじまった近代の情報メディアの技術開発は、過去10年程の間に大きな変化を遂げました。

日本に多く見られた旧タイプの開発は失敗し、iPhoneのような開発は成功しました。ポイントはどこにあったのか。メディアデザインの考え方を紹介します。

日程	2016年9月8日(木)
時間	14:00~15:40
会場	映像シアター(たづくり8階)
講師	兼子 正勝(大学院情報理工学研究科 情報学専攻 教授)
受講料	無料
定員	100人
保育	あり
申込開始日時	市内の方:2016年8月12日(金) 9:00から 市外の方:2016年8月19日(金) 9:00から
申込方法	財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団のサイトをご覧ください。 <a href="#">財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団</a> <a href="#">ちようふ市内・近隣大学等公開講座</a>

## ○ 児玉幸子 - 磁性流体彫刻とメディアアートのデザイン展

調布市在住のメディアアーティストあり、本学情報学専攻准教授である児玉幸子の作品を紹介する地元で初めての展覧会を行います。

作家は、自然の現象や造形と、人工物のデザインに興味を持ち、生物のような形態や動きと造形の変化そのものをテーマにした創作活動を続けてきました。磁気によって形状を変化させる磁性流体を用いたアートプロジェクトでは、文化庁メディア芸術祭インタラクティブ部門大賞を受賞しています。独自に編み出した「磁性流体彫刻」という技法による立体作品と映像は、これまでに20か国以上の国の美術館やギャラリー、公共空間、個人宅などで展示され、美術・デザインの領域にとどまらず、幅広い分野に影響を与えています。

本展は、未公開作品、作家が勤める調布市の電気通信大学の研究室とのコラボレーション作品、映像資料までを含め、表現のための科学技術の開発を行いながら、芸術-社会との関係、個々の作品の造形において、ニューメディアアートの「デザイン」を試みるメディアアーティスト児玉幸子の作品群を紹介いたします。

日程	2016年8月6日(土) から9月19日(月・祝) 休館日:8月22日(月)・23日(火)
時間	10:00から18:00(金曜日は20:00まで)
会場	文化会館たづくり1階 展示室
講師	児玉 幸子(メディアアーティスト、大学院情報理工学研究科 情報学専攻准教授)
入場料	無料
主催	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
後援	国立大学法人電気通信大学 調布市教育委員会 J:COM 調布FM 83.8MHz

## 調布少年少女発明クラブが公益社団法人発明協会発行の広報誌に掲載されました

2016.9.15

調布少年少女発明クラブは平成16年10月に創立、11月から活動を開始し、今年度で活動12周年を迎えました。

全国に200か所以上の少年少女発明クラブがありますが、国立大学が全面的な支援を行っている発明クラブは、調布少年少女発明クラブのみです。

今回、公益社団法人発明協会が発行している「少年少女発明クラブニュース」にクラブや指導員が掲載されました。昨年度は少年少女チャレンジ創造コンテストにおいて全国大会への出場も果たした当クラブに今後もどうぞご注目下さい。

掲載ページは [こちら](#) ※掲載号の一部抜粋となります

調布少年少女発明クラブについての詳細はホームページをご確認ください。 [調布少年少女発明クラブ](#)



学生サークル地域貢献活動は、電気通信大学同窓会 一般社団法人「目黒会」の支援を受けて、本学の学生サークルが調布市近隣の児童等を対象として行う地域貢献活動です。

#### 1：サークル名

Live in SPACE Project

代表者 石井 大貴（情報理工学部先進理工学科3年）

副代表 菅野 航亮（情報理工学部先進理工学科2年）

#### 2：活動テーマ

宇宙をもっと身近に感じよう

#### 3：実施日時

平成28年10月30日（日）13:00～16:00

#### 4：実施場所

電気通信大学創立80周年記念会館3階フォーラム

#### 5：活動テーマの概要

ペーパークラフト、実験キット工作（2種類）、実験(月及び真空状態の実験)などの活動を通して宇宙についての興味関心を深めてもらう。

#### 6：実施報告

(1) 参加者：富士見児童館 小学生12名（男子7名、女子5名）、保護者5名

(2) 実施イベント：「ブラックホールを作ってみよう」「ハヤブサを作ろう！」「空気がないとどうなるの？」「太陽が消える！！日食のふしぎ」「燃料を使わず帰還せよ！！」

(3) 指導スタッフ：Live in SPACE Project 15名

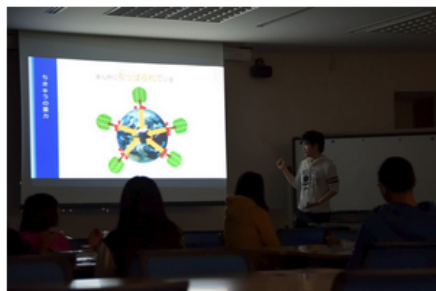
電気通信大学	4名
東京大学	5名
慶應義塾大学	5名
千葉大学	1名

#### (4) 実施状況：

募集時期が準備の関係で遅くなったことから参加者が少なくなることが懸念されたが、無事に集まり今回のイベントを開催することが出来た。題材が宇宙ということで、理科を学習し始める小学校高学年の児童が多かったが、それ以外の児童も楽しんでいる様子が伺えた。宇宙科学を分かりやすく伝えることは容易ではなかったが、児童が落ち着いて我々の話を聞いてくれたこともあってスムーズに活動が行えた。歳が10近く離れている児童とともに楽しみながら宇宙について学ぶことが出来たのはお互いにとって貴重な体験であった。



真空を作り出す実験の様子



実験前のミニ授業の様子